

交通事故防止対策優良事業場表彰を受賞して -高速横浜環状北西線 東方換気所建設工事

五洋・本間・土志田建設共同企業
東方換気所建設工事事務所
所長 伊藤 文彦

1. はじめに

この度は、一般社団法人日本建設業連合会公衆災害対策委員会より、栄誉ある優良事業場表彰を賜り、誠に有難うございました。これもひとえに、公衆災害対策委員会交通対策部会の皆様をはじめ、発注者である横浜市道路局ならびに関係各位のご指導の賜物と、あらためて深く感謝申し上げます。



図-1 工事位置

2. 工事概要および周辺環境

横浜環状北西線は、東名高速道路(横浜青葉インターチェンジ)と第三京浜道路(港北インターチェンジ)を結ぶ、延長約7.1km(うちトンネル部約4.1km)の自動車専用道路です。

この環状北西線が完成すると、平成29年3月18日に開通した横浜北線と一体となり、東名高速道路から横浜港までが直結されます。

換気所は地下ボックスカルバート方式で横51.6m、縦71.6m、深さ15.2mの規模で、土留壁は親杭横矢板工法で土留は除去式アンカー工法を採用しております。また、資機材の搬出入用に工事用道路を作成し、一般道路の通行車両に支障しないよう、対策を講じております。

掘削土量64,000m³の内、処分土量55,000m³埋戻し土量として、10,000m³を現場から12km先の仮置場に運搬し、埋戻し作業時に、同量を現場まで運搬しております。

運搬経路は、幹線道路から工事場所までの区間が大型車両進入禁止区間であるため、工事で使用する大型車両約500台全てを、所轄警察へ通行禁止道路通行許可申請を行い、進入道路幅員が約5mと狭いため、交通誘導員を複数人配置し一般車両優先の誘導を行っております。



写真-1 掘削工施工状況



写真-2 大型車通行禁止区間

3. 交通事故防止等に対する実施事項

(1)GPS運行管理システムを使用した運行管理

GPS機能付きスマートフォンを全車に搭載しリアルタイムな運行管理を行っております。

・運行管理システムの特徴として

- ① 運行ルート事前に設定することが可能。
- ② 事前の危険箇所を設定し近づくと音声案内で注意喚起を行う。
- ③ 事務所にて運行状況をパソコン画面で確認でき、速度違反は音声警告を行う。
- ④ 現場への入場時間の制限や分散化入場が可能。
- ⑤ 一日の運行状況を出し速度違反やルート逸脱を確認できる。
- ⑥ 急加速、急ブレーキ、急ハンドルをした場合、警報で注意喚起を行う。

・運用方法として

朝礼時に健康管理、酒気帯びのチェックを行い、スマートフォンを手渡し、前日の運行状況から、スピード違反などを指摘し改善を求めます。



図-2 システム概要

(2)運行記録と点検整備

大型規制申請が必要であるため、個々の車両管理資料を整理し、個人情報の書類は施錠可能な書庫に保管しております。

タコグラフのデータとGPS運行システムのデータを比較して管理の指導を行い、日々の運行記録とともに使用車両の一覧表を整備し、定期点検時期の管理を行っております。

(3)積荷管理

現場ではトラックスケールで積載重量の管理を行い、最適な荷姿を撮影して写真をダンプトラックと積込重機械の運転手に渡し、積荷の管理を行っております。

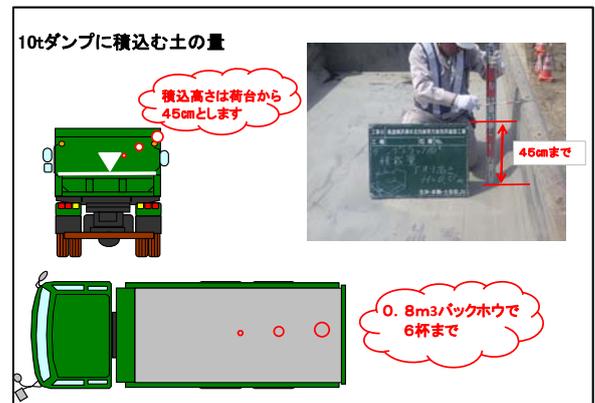


図-3 ダンプトラック積載



写真-3 積載重量測定

(4)アルコールチェック

出庫時に全員でアルコールチェックを行い、健康管理も含め、昨日の飲酒の量と時間を記

録しております。

(5) 交通 KY マップ

土砂運搬ルートを事前に現地踏査を行い、最適ルートを決し、幼稚園、学校、病院、養護施設、公園、商店街などの子供や人の交通量の多い箇所をハザード区域として特定し、「交通KYマップ」を作成して運転手に事前に渡し、運転時の注意事項と交通事故防止について教育を行っております。



図-4 交通 KY マップ図



写真-4 商店街運搬走行路

4. 地域住民への配慮

(1) 地域の環境保全

ダンプトラックの出庫時の誘導とともにタイヤ洗浄とダンプトラック荷台部分の泥の付着を人力にて清掃を行い一般道路の泥落としを防止しております。

工事着手前には付近の交通量調査を行い、工事用車両の運行開始時間を定めるとともに、

工種が変更するごとに振動騒音測定を行い近接家屋への環境に配慮しております。



写真-5 ダンプトラックタイヤ清掃状況



写真-6 ダンプトラック荷台背後清掃状況



写真-7 交通量調査



写真-8 振動騒音測定



写真-9 敷鉄板設置

(2)場内整備

場内はすべて敷鉄板を敷設し、個々に溶接を行い、敷鉄板のバタつきを防止し、車両の通過時の騒音防止に努め、粉塵防止対策として、散水をしております。

5. その他

(1)店社の安全管理

店社安全パトロールや事業主パトロールを月1回～2回実施し、会社独自の「交通災害防止 8 か条」のポスターを作成し啓蒙しています。



図-5 交通災害防止8か条

(2)ダンプトラック荷台上での安全作業

道路上での土砂・粉塵飛散防止のため、積荷土砂を覆ったシートを剥がす場所を定め、昇降設備や転落防止設備を設けております。



写真-10 昇降設備

6. おわりに

今回、私共が受賞できたのも日本建設業連合会ならびに、横浜市道路局横浜環状北西線建設課様をはじめ関係する皆様のご支援・ご指導があつてのことです。

私共は、この栄誉ある賞をいただいた感激を忘れず更なる安全管理に努め、無事故で工事を完成させる決意であります。

今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願いいたします。

2017年7月19日 優良事業場表彰式
日建連 公衆災害対策委員長 表彰現場